流れ藻観測速報

鹿児島大学水産学部水圏科学分野

20250223

観測期間：2025年2月22日～23日
観測船：南星丸
観測海域：北部薩南海域

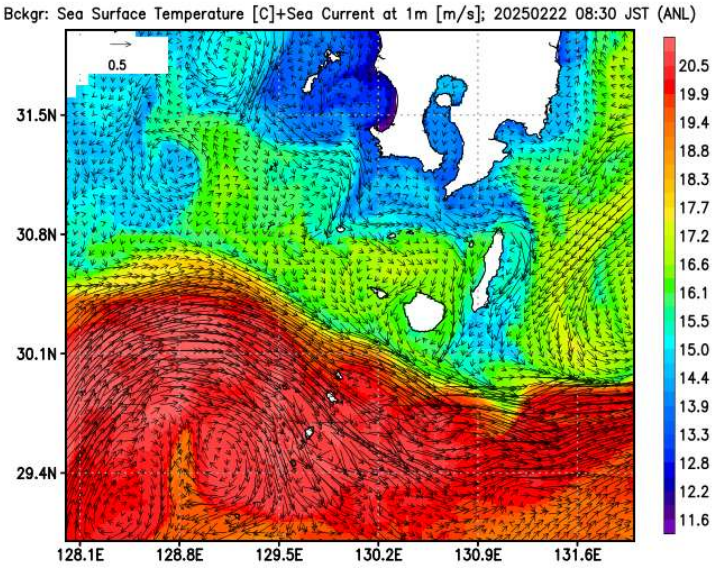

図1．　鹿児島大学工学部によって運用されている高分解能海洋モデル（DR_E）における流れ（矢印）および海表面水温（赤～紫）の2月22日の結果（ホームページより引用）．

解説

鹿児島大学水産学部では，薩南海域へ来遊する流れ藻の漂流予測を目指した研究を行っている．モジャコ漁の漁期前・漁期中において，薩南海域に来遊する流れ藻の情報を漁業者に提供するため，鹿児島大学練習船南星丸を使って，北部薩南海域（鹿児島湾口部）の流れ藻観測を2月22日～2月23日に実施した．

観測期間中，黒潮はトカラ海峡を西北西から東南東に向かって流れ，屋久島の北西沖に黒潮由来と考えられる暖水塊が確認された．DR_Eでは明確な黒潮フロントが見られた．

北部薩南海域において流れ藻観測を行ったところ，黒点部分において流れ藻が発見された．
22日の観測では湾口部にてごく少数の流れ藻を確認した．23日にも同海域において観測を行ったが，流れ藻は確認できなかった．本観測において湾口部で確認された流れ藻は少なく，大きさも小さいものがほとんどであった．

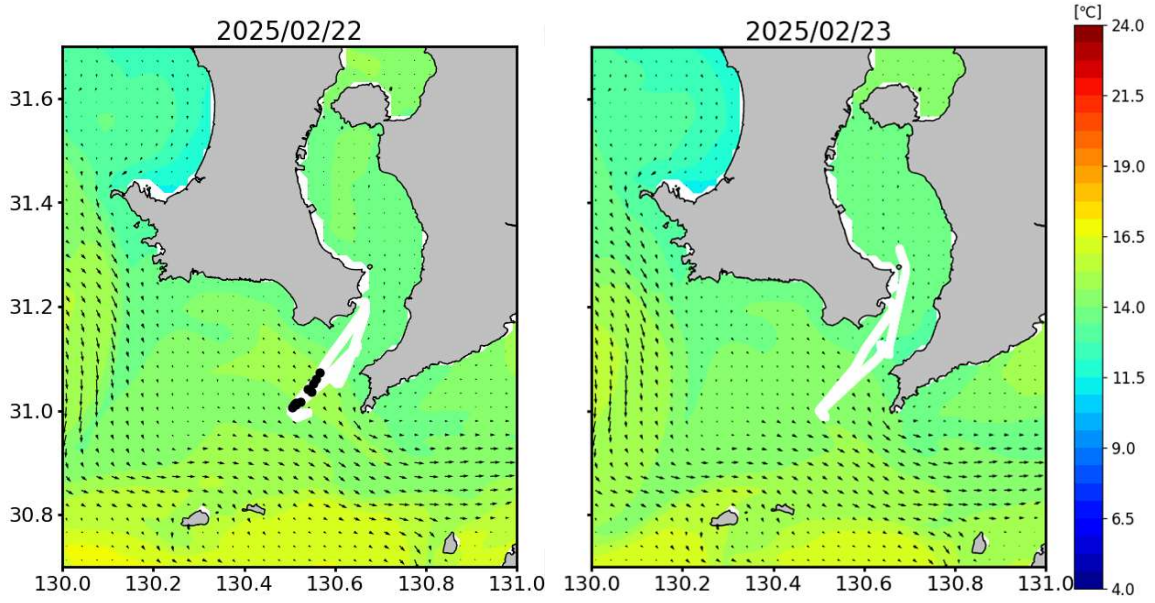
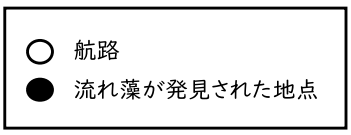
図2．　鹿児島大学練習船南星丸による流れ藻観測結果．<u>黒点部分</u>にて，流れ藻が発見された．